

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)(販売開始から平成19年9月30日まで)

No.	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
296	B-02012658	女性	55歳	150mg	五虎湯 血圧降下剤	意識レベルの低下	回復	近医にて耐糖能異常と診断されたが投薬なし。低血糖発作既往、TIAの既往なし。インフルエンザ治療のため午前中より、リン酸オセルタミビル服用開始。服用開始2日目に食事の後本剤服用10分後に気分不良、冷汗、意識もうろう、全身発汗発現、トイレにて倒れる。動悸著明。約1時間半後、処置せず症状回復。
297	B-03012141	女性	55歳	150mg		痙攣	回復	インフルエンザA型と診断、リン酸オセルタミビル150mg/日を処方。夕方75mgを服用。3時間後に上肢が痙攣したが、1時間ほどで改善。
298	B-04026213	男性	55歳	75mg	なし	意識変容状態	回復	B型インフルエンザ確定診断後、リン酸オセルタミビル75mg/日を投与開始。投与1回目の2時間後に嘔気自覚、引き続き意識消失及び嘔吐の有害事象発現。5分後には回復。翌日外来受診するが、有害事象は認められず。
299	B-04026885	女性	55歳	150mg	なし	浮動性めまい	不明	メニエール病の既往あり。B型インフルエンザ陽性のため、リン酸オセルタミビル150mg/日を投与。投与開始後2日目、めまいがひどいとの愁訴あり。4日目、本剤投与中止。体調不良の際にはめまいが発現するとの愁訴は報告時にも継続。
300	B-05001027	男性	55歳	150mg		味覚消失(味覚喪失) 無嗅覚(嗅覚喪失)	未回復	インフルエンザB治療のためリン酸オセルタミビルを投与開始。本剤投与2日目から味覚障害・嗅覚障害発現。本剤投与4日目で中止し、耳鼻科受診するが、味・嗅覚喪失改善されず、以後耳鼻科にて投薬を受けている。
301	B-04027249	女性	56歳	150mg	塩酸オロパタジン	意識消失 発疹 顔面浮腫	回復	B型インフルエンザ確定診断後、リン酸オセルタミビル150mg/日を投与開始。2回目の服用後、胸部背部に発疹が出現するが、未処置のまま就寝。翌朝、発疹はやや軽減するが、顔面浮腫の自覚あり、さらに排尿時にごく短時間の意識消失発現。再度リン酸オセルタミビルを服用したところ、気分不良及び発疹増悪、入院。点滴加療等により、翌日回復、退院。

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)(販売開始から平成19年9月30日まで)

No.	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
302	B-07000104	男性	57歳	75 mg	アセトアミノフェン ベシル酸アムロジピン カンデサルタンシレキセチル メシル酸ドキサゾシン 球形吸着炭 炭酸水素ナトリウム アロプリノール ファモチジン 沈降炭酸カルシウム シロスタゾール タソバクタムナトリウム・ピペ ラシンナトリウム パニペネム・ベタミプロン ポリエチレングリコール処理 人免疫グロブリン	痙攣	死亡	発熱(39.4°C)、湿性咳嗽あり、インフルエンザA治療のため、リン酸オセルタミビル服用。5時間後の翌未明、けいれん発症。
303	B-07000287	女性	57歳	75 mg		落ち着きのなさ	回復	インフルエンザA陽性であり、症状の訴え強いため、リン酸オセルタミビル75mg服用後、透析開始。服用20分後、息苦しき出現。SpO2 90%。O22リットル開始後、98%に改善するが、その後起座呼吸。不穏状態となる。胸部レントゲン上(透析1時間後)うっ血を認める。服用1時間後、心不全、不穏の為、入院。
304	B-05001265	女性	59歳	150mg	セフジトレンピボキシル セラペプターゼ リン酸ジメモルファン メクロプラミド ジサイクロミン・水酸化アルミ ニウム配合剤 酸化マグネシウム	悪夢(悪夢)	回復	インフルエンザA治療のためリン酸オセルタミビル投与。投与開始日の夜、悪夢発現。発熱中夜睡眠時に悪夢発現。本剤投与開始3日後平熱化し、自覚症状改善したため、当日夜の服用を中止したところ、悪夢を見なくなった。回復。
305	B-05001338	男性	59歳	150mg	セフジトレンピボキシル セラペプターゼ リン酸ジメモルファン メクロプラミド ジサイクロミン・水酸化アルミ ニウム配合剤 アズレンスルホン酸ナトリウ ム・L-チロシン	悪夢(悪夢)	回復	前日から38°C発熱、インフルエンザB治療のためリン酸オセルタミビル投与。その夜悪夢出現。飲み続けた2日間、悪夢継続。本剤投与中止により悪夢の自覚症状改善。

リン酸オセルタミビル

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)(販売開始から平成19年9月30日まで)

No.	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
306	B-05024962	女性	59歳	150mg	アセトアミノフェン	嘔吐 悪心 頭痛 頭部不快感	回復 回復 回復 回復	A型インフルエンザで発熱(36.9°C)が見られ、リン酸オセルタミビルの服用を開始した。投与開始から2日目に悪心、嘔吐、頭痛、頭部不快感が発現し、リン酸オセルタミビルの服用は投与開始から3日目の投与終了までで中止した。その後、悪心、嘔吐、頭痛、頭部不快感の発現から約20日後に症状が回復した。
307	B-07000276	女性	59歳	75 mg	ハロペリドール ゾテピン 塩酸ピペリデン ユピデカレノン フマル酸クエチアピン 塩酸プロメタジン センノシド フルニトラゼパム	痙攣 息詰まり	不明 後遺症	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル投与開始。一回服用後、痙攣、意識レベルの低下発現。本剤投与中止。翌朝、普段と変わらない状態を確認後、食事。その後、食事をのどに詰め倒れているところを発見。
308	B-05001125	男性	61歳	75mg	カルボシステイン ステアリン酸エリスロマイシン	意識変容状態	回復	インフルエンザ治療のためリン酸オセルタミビル投与。食後カルボシステイン、ステアリン酸エリスロマイシンと同時に服用したところ5分以内に意識がなくなる。救急車到着後まもなく意識が戻ったため、自宅静養。回復する。その数日後、再度受診し本剤DLSTの検査を行ったところ、S.I値217%であった。
309	B-05000880	女性	62歳	150mg		味覚異常(味覚障害) 嗅覚錯誤(嗅覚障害)	回復	インフルエンザB治療のためリン酸オセルタミビルを投与。投与開始4日後に味覚障害、嗅覚障害発現。その後も投与を続け、開始5日後に投与終了。投与終了後8日で軽快。
310	B-06025517	男性	62歳	150 mg	アセトアミノフェン	意識消失	回復	インフルエンザA型と診断され、リン酸オセルタミビル処方。本剤投与翌早朝、意識不明(トイレに目覚めたが、トイレと逆方向に行き転倒。気付いたときは頭部に4cm程度の切り傷あり)発現。

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)(販売開始から平成19年9月30日まで)

No.	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
311	B-05001513	女性	63歳	150mg	テオフィリン 非ピリン系感冒剤(2) セフポドキシムプロキセチル アセトアミノフェン アスピリン アルファカルシドール バルプロ酸ナトリウム トロキシビド トラピジル 沈降炭酸カルシウム プロチゾラム クエン酸モサプリド 塩酸チアラミド 鎮咳配合剤(1)	痙攣(けいれん重積発作)	回復	脳梗塞、慢性腎不全、血液透析の既往あり。咳、発熱(38.5℃)嘔声出現し、塩酸チアラミド及び鎮咳配合剤4日間投与。その後も発熱、喘鳴が続くため、確定検査によりインフルエンザB確定診断しリン酸オセルタミビル投与。3日後解熱するが喘鳴改善なく、感冒薬投与。翌日全身痙攣をきたし、救急搬送。けいれん重積発作が3時間続く。その後回復。
312	B-05002114	女性	63歳	150mg	アジスロマイシン水和物 非ピリン系感冒剤(4) テプレノン エカベトナトリウム	味覚異常(味覚障害)	軽快	発熱有り受診し、B型インフルエンザと診断。治療目的にリン酸オセルタミビルを投与。本剤投与後3日後、食欲不振、味覚障害発現(重篤でないし軽微でもない)。その翌日平熱となり本剤投与中止。本剤投与中止20日後、味覚障害軽快となる。
313	B-05000160	女性	64歳	150mg	アセトアミノフェン	筋痛(両上肢脱力を伴う筋肉痛) 感覚障害(上半身皮膚知覚異常)	未回復	発熱、関節痛のためインフルエンザ確定診断を実施せずリン酸オセルタミビルを投与開始。翌日両上肢脱力を伴う筋肉痛、上半身皮膚知覚異常発現。その後の処置、転帰等については不明。
314	B-05017977	女性	64歳	75mg		意識消失(意識消失)	回復	B型インフルエンザ治療のためリン酸オセルタミビル投与。1cap服用後、意識消失発現。救急搬送される。翌日退院となる。回復時期は不明。
315	B-04027668	男性	65歳	150mg	メフェナム酸 非ピリン系感冒剤(4)	味覚異常	回復	B型インフルエンザ確定診断後、リン酸オセルタミビル150mg/日を投与開始。投与開始2日目、味覚障害を発現。合計5日間本剤服用した後、投与中止。翌日、味覚障害回復。その後9日目、調子が悪くなり(だるい)、悪寒、味がおかしくなるとの訴えあり。味覚障害については、報告時未回復。

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)(販売開始から平成19年9月30日まで)

No.	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
316	B-03003859	女性	66歳	150mg	カルベジロール レボチロキシンナトリウム グリベンクラミド アカルボース	脳血栓 血圧低下	未回復	発熱(38.6°C)にてリン酸オセルタミビル服用開始。 2日後、血圧低下。 その2日後、本剤服用中止。 服用中止21日後、右半身麻痺発症。 2日後、入院し脳血栓症の診断。 退院後も右半身麻痺症状は消失せず。
317	B-03009966	男性	66歳	75mg	テオフィリン ブランルカスト水和物 テプレノン プロピオン酸フルチカゾン	痙攣 意識消失	回復	喘息のため、テオフィリン、ブランルカスト水和物、テプレノン(以上開始日: 2001/07/14)、プロピオン酸フルチカゾン(開始日:2002/05/28)を投与中。イン フルエンザA型と診断、リン酸オセルタミビル150mg/日処方。同日夜、75mgを服 用。その7時間後、意識消失発作あり転倒したが、1分程度で意識が戻る。その 2時間半後、眼球上転、全身痙攣出現、便失禁あり。1分程度で痙攣消失し意識 清明となる。入院したが、意識清明。本剤内服は中止。7日間入院したが、その 間意識消失、痙攣なし。
318	B-05001653	女性	66歳	150mg	アズレンスルホン酸ナトリウ ム インドメタシン 乳酸リンゲル液 メクロプラミド	意識変容状態	回復	発熱・全身倦怠感を訴え外来受診。インフルエンザと診断され、リン酸オセルタ ミビル投与。翌日午前中嘔吐し、再度外来受診。乳酸リンゲル液+メクロプラ ミド静注。手のしびれを訴えたがそのまま帰宅。翌日早朝、意識障害に気付き、 救急病院に搬送され、本剤投与中止となる。翌日、家族から意識回復の電話 連絡あり。
319	B-07001731	女性	66歳	75 mg	臭化水素酸デキストロメトル ファン ロラゼパム クロキサゾラム	意識変容状態 痙攣	回復 回復	インフルンザ治療のため、リン酸オセルタミビル処方。食事中、腹痛、気分不快 になり意識消失(5分間程)。尿失禁あり。その後回復。
320	B-07002262	女性	66歳	150mg	アセトアミノフェン ツロプテロール 塩酸プロカテロール クラリスロマイシン 酒石酸ソルピデム 臭化オキシロピウム 臭化水素酸デキストロメトル ファン セラベプターゼ 塩酸アンブロキシソール カルボシステイン テオフィリン	うつ病	回復	インフルエンザB型の診断にて、リン酸オセルタミビル処方。本剤を服用するとう つ状態となり、死にたいという気持ちが強くなり、手首を切るかと思いつめた。 3回目までの服用したが、あまりに症状がきついで、本剤服用中止。中止後、 症状軽快するも、中止1か月後、うつの症状が抜けきらず、夜も眠れないとのこ と。

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)(販売開始から平成19年9月30日まで)

No.	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
321	B-05001646	女性	67歳	75mg	非ピリン系感冒剤(4) セラペプターゼ 塩化デカリニウム アセトアミノフェン 維持液(3)	意識消失(意識消 失(失神))	回復	前日から38℃発熱、咽頭痛、頭痛有り、受診しインフルエンザBと診断。治療のためリン酸オセルタミビル投与。その夜、意識消失(トイレで倒れ骨折)。失神は5分以内に回復。本剤投与は継続し本剤投与4日後にインフルエンザ回復。
322	B-06026127	女性	67歳	150 mg	クラリスロマイシン 塩酸チアラミド リン酸コデイン(1%以下) 塩酸プロカテロール 塩酸セフェピム	意識消失	回復	夜、本剤服用後、医院から帰る途中、車にて事故を起こした。意識消失発現。来院し、体温36.2℃。事故について、意識がなかったことを聞く。CT異常なし。意識消失回復。
323	B-04024816	女性	68歳	150mg	テガフル・ギメラシル・オテ ラシルカリウム アセトアミノフェン 塩酸エホニジピン メクロプラミド	意識変容状態 痙攣	回復	B型インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル150mg/日を投与開始。最終投与(4回目)後当日中に、言語、行動異常出現。バルプロ酸ナトリウム投与等の処置により、有害事象発現16日後回復。
324	B-07000205	女性	69歳	75 mg	リン酸ジメモルファン カルボシステイン アズレンスルホン酸ナトリウ ム・レーグルタミン アセトアミノフェン	意識消失	回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。 翌日、意識消失発現。廊下でまへのめりに転倒、顔を床にうつ。本剤服用中 止。
325	B-07001524	男性	69歳	150 mg		認知症	回復	3日前、発熱あり。 インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。 服用開始3日目、幻覚、認知症の悪化発現。幻覚の内容は「周りに女の人がい て集団見合いをしている」といったもの。その3日後、幻覚軽快。本剤服用後し ばらくは認知症の程度が強くなった。さらに2日後、認知症の悪化も回復。
326	B-02002488	男性	71歳	150mg	アジスロマイシン水和物 非ピリン系感冒剤 セラペプターゼ	糖尿病性昏睡	未回復	悪寒、発熱(38.5℃)のためリン酸オセルタミビル投与開始。 3日後嘔吐、倦怠のため投与中止。 中止2日後、糖尿病性昏睡発現。インスリン処方。 2ヶ月後、糖尿病性昏睡軽快

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)(販売開始から平成19年9月30日まで)

No.	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
327	B-03010065	女性	71歳		PL リン酸ジメモルファン 塩酸セフカベンピボキシル ベンフォチアミン・B6・B12配 合剤(1) 塩酸ジルチアゼム パファリン81mg トリアゾラム	妄想 幻覚	回復	インフルエンザと診断、リン酸オセルタミビル(量不明)を服用(併用薬の服用状況は不明)。翌日、解熱したが、夜間より、幻覚、妄想出現。2日後入院、本剤中止。事象発現から6日目に幻覚消失。
328	B-02001386	女性	72歳	150mg	アンピシリンナトリウム ポラブレジンク スリンダク テブレノン 塩酸エペリゾン ジアゼパム 臭化ジスチグミン フロセミド ヒトインスリン(遺伝子組換え) プロチゾラム	嗜眠	軽快	細菌性髄膜炎、敗血症発症し入院。血小板減少を認めさらに一過性の意識障害を認めた。その後、A型インフルエンザと診断され、治療目的にてリン酸オセルタミビル投与。投与3回目内服後、しばらくして傾眠状態に陥る。その後、痰つまり、血圧低下等有り。同日本剤等併用薬のほとんどを中止とし、インフルエンザ回復と判断。その後意識低下等のための処置を行い、意識消失後6日目に経口摂取可能となり、全ての副作用軽快と判断。その後も意識レベル変動あり。
329	B-07000290	男性	72歳	150 mg	クラリスロマイシン 鎮咳配合剤(1) アセトアミノフェン グリクラジド 塩酸メホルミン	妄想	回復	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル処方。翌日、精神異常(妄想)発現。常に後ろから誰かに邪魔されている、邪魔されている人から逃げる。逃げ切った後に急にその人が前に現れるといった症状が、本剤服用後に確認された。本剤服用中止。症状回復。
330	B-02001093	女性	74歳	150mg	塩酸シプロヘプタジン アセトアミノフェン 臭素水素酸デキストロメト ファン 塩酸ジフェンヒドラミン 桜皮エキス セネガ セラペプターゼ 塩酸プロモヘキシシ	譫妄 不穏	回復	詳細不明。認知症あり。

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)(販売開始から平成19年9月30日まで)

No.	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
331	B-04000835	男性	74歳	150mg	麻黄湯 アスピリン シメチジン	認知症	回復	アスピリン、シメチジンを投与されていた(開始日:不明)。38°Cの発熱があり、インフルエンザA型と診断後、リン酸オセルタミビル150mg/日及び麻黄湯を5日分処方されたが、4日目に認知症が激しくなり、冢の間取りも忘れる。リン酸オセルタミビルを4日分で中止後、記憶力は次第にもどり、事象発現から7日目には認知症症状も良くなった。
332	B-05001823	男性	74歳	75mg	クラリスロマイシン クエン酸モサブリド センノシド 経腸成分栄養剤(2) イトラコナゾール	意識レベルの低下(意識レベルの低下)	回復	肺結核、肺真菌症の既往あり。以前より起立性低血圧の既往有ったが、意識レベルの低下歴は認められていない。38°C程度の発熱が続き、インフルエンザ確定診断テスト実施した結果、B型インフルエンザと診断され、治療目的としてリン酸オセルタミビル投与。翌早朝ベッド前に倒れ、その際に左側頭部打撲、側頭部内出血。当日朝方に意識レベル改善し、夕食後より本剤投与中止となる。翌日インフルエンザ治癒。
333	B-02000229	男性	76歳	150mg	エリスロマイシン 葛根湯 ピペラシリンナトリウム	幻覚	回復	詳細不明
334	B-02001630	女性	76歳	150mg	塩酸ラニチジン ニセルゴリン プラバスタチンナトリウム カンデサルタンシレキセチル トリクロルメチアジド シルニジピン	痙攣	回復	基礎疾患として、胃潰瘍、十二指腸潰瘍、高脂血症、高血圧、多発性脳梗塞を持ち、治療中(開始日:2001年頃)。臨床経過より、インフルエンザと診断、リン酸オセルタミビル150mg/日を処方。投与を開始した翌日の昼に痙攣、意識障害が発現。同日、入院し、本剤の投与中止。翌日、軽い眩暈があるが、意識清明。さらに翌日、意識清明、眩暈消失、痙攣回復。

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)(販売開始から平成19年9月30日まで)

No	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
335	B-02009730	女性	76歳	150mg	プラバスタチンナトリウム クエン酸モサブリド ブドステイン セフジニル トラネキサム酸 臭化水素酸デキストロメトルファン カルボシステイン オキサトミド ジフェンヒドラミン フルオシノニド ベタメタゾン/α-マレイン酸 クロルフェニラミン 塩酸フェキシフェナジン スクラルファート	反射減弱 末梢性ニューロパシー	不明	A型インフルエンザと診断され、リン酸オセルタミビルを治療目的に投与。本剤服用終了約1月後に四肢末梢のしびれ(末梢神経障害)発現。その後、全身脱毛、腱反射減弱、神経因性膀胱、食欲不振等発現。原因精査加療目的のため入院し、処置を行い末梢神経障害や食欲も徐々に回復。転帰は不明。
336	B-05001017	女性	76歳	150mg	塩酸ドネペジル 塩酸ラニテジン スクラルファート	意識変容状態	回復	老年痴呆の既往あり。インフルエンザA,B治療のためリン酸オセルタミビルの投与を開始。6日間投与を2クール実施後4日後に意識障害が発現。終日眠っており覚醒しない。補液のみで翌日から回復に向かい、意識障害発現後5日後に意識障害は回復した。
337	B-05026500	男性	76歳	150mg		幻覚	回復	A型インフルエンザで発熱(38.9℃)が見られ、リン酸オセルタミビルの服用を開始した。服用開始から3日目に不穏等が発現し、その後幻覚も見られた。服用開始から4日後に服用を中止し、幻覚は発現から5日目に回復した。
338	B-01000663	女性	78歳	150mg	グリベンクラミド ボグリボース アズレンスルホン酸ナトリウム/α-グルタミン 酒石酸イフェンプロジル 硫酸鉄 アモキシシリン/クラブラン酸カリウム	低血糖昏睡	回復	糖尿病の既往有り。発熱・全身倦怠感有り病院受診し、迅速診断にてA型インフルエンザと診断。翌日、朝より少し食欲無く昼食の量は少なめ。その日17時頃就寝呼びかけに対する返答無し、その後見に行ったところ昏睡のため救急搬送となる。病院到着時、血糖値38mg/dLであり、ブドウ糖静注すると完全に回復となる。担当医によると、低血糖となったのは、今回初めて。

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)(販売開始から平成19年9月30日まで)

No.	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
339	B-03010786	女性	79歳	150mg	アルファカルシドール ニフェジピン	幻覚 妄想	回復	高血圧、骨粗鬆症で投薬中(開始日:2001/10)。インフルエンザA型と診断、リン酸オセルタミビル150mg/日5分を処方。2日間服用後の夜中、起床し、異常な発言を行い、そわそわして寝ない。翌日朝、服用後、本剤の投与中止。同日午前中に受診し、会話正常。翌日午前中まで昼夜の区別がなかったが、午後になり通常の状態に戻る。
340	B-07002949	女性	79歳	150mg	セフミノクスナトリウム ニフェジピン マレイン酸エナラプリル トリクロールメチアジド スピロラクソン アスピリン・ダイアルミネート シンバスタチン ジクロフェナクナトリウム	幻覚 譫妄	回復 回復	高熱、咽頭痛、歩行困難あり、入院。インフルエンザ疑いのため、リン酸オセルタミビル投与開始。 翌日、朝より解熱。 投与開始5日目、深夜幻覚、譫妄発現。私服に着替え、夫の病室を訪問。「退院しよう」と誘うも、説得され帰室。本剤投与終了。 翌日深夜も独りで夫の部屋を訪れ、「退院しよう」といい、説得されて、他の病室へ入室。その後、病室を出て、約1km離れた自宅に帰り、娘宅に電話する。夫がいないことを不審に思った由。 その3日後、幻覚、譫妄回復。
341	B-05000870	女性	80歳	150mg		味覚異常(味覚障害)	回復	インフルエンザB発症しリン酸オセルタミビル5日間投与。投与終了2日後インフルエンザ軽快したが、味覚障害・嗅覚障害発現。味覚障害等発現6日後回復。
342	B-05003030	男性	80歳	150mg	アスピリン・ダイアルミネート メシル酸ベタヒスチン 酸化マグネシウム	譫妄(譫妄)	回復	インフルエンザと診断され、治療目的にリン酸オセルタミビル投与。昼に本剤服用後、まだらボケがあったが、夜も服用すると妄想、せん妄が発現(軽微)。翌朝も症状続いたため自己中止。その後症状緩和。その日夕方本剤再度服用するも、再び記憶があいまいとなる。翌日、本剤中止。その後、症状なくなる。妄想、せん妄回復。
343	B-07001906	不明	80歳代	150mg		認知症	回復	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル服用開始。うなったり暴れたりということが見られ、その後、訳のわからないことをいうなど痴呆症のような状態となる。精神神経異常発現。本剤投与中止。インフルエンザ発症前(本剤服用前)は、痴呆症なし。 投与中止翌日、精神神経異常回復。
344	B-01012004	男性	81歳	150mg	塩酸ミノサイクリン シメトリド・無水カフェイン ファロベネムナトリウム ロキソプロフェンナトリウム	幻覚	回復	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル他処方され、経口投与開始。5日後とも、熱がおさまってから幻覚(天井に赤い花が見えるなど)、幻視発現。本剤他投与中止。 幻覚発現3日後、幻覚、幻視回復。

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)(販売開始から平成19年9月30日まで)

No	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
345	B-07000126	女性	82歳	75 mg	ピコスルファートナトリウム 塩酸マニジピン	幻覚	回復	インフルエンザA型の診断にて、リン酸オセルタミビル処方。体温37.1℃。本剤服用し、就寝するも眠れず、近所の人の話では訳の分からないこと(入院中ではないはずの息子が手足がとれて家にいるので医師のところ連れて行かなければ、娘がバラバラになって雪にうもれているので助けなければならない等)とを話していたとのこと。 服用から2日目、受診。意味不明な事(孫が体中切れていてこわかった等)を話す。インフルエンザ脳症を疑い入院。入院後も、「私のまわりに虫がいっぱいついている。窓から外を見て実際は見えないのだが電車の人が手を振っている。自分の足元に川が流れている」などと話す。 服用から3日目、朝、大分落ち着き普通に戻った。 服用から4日目、インフルエンザ軽快
346	B-07003017	女性	82歳	150 mg	アゾセמיד イブジラスト クエン酸タンズピロン ファモチジン 非ピリン系感冒剤(4) 葛根湯 アセトアミノフェン	妄想 幻聴	回復 回復	インフルエンザA1に対して、リン酸オセルタミビル服用開始。 投与開始2日目、妄想、幻聴発現。本剤投与中止。 投与中止2日後、妄想、幻聴回復。
347	B-04027318	女性	84歳	150mg	バルプロ酸ナトリウム	うつ病	回復	てんかんの既往あり、バルプロ酸ナトリウム長期投与中。B型インフルエンザ治療のため、150mg/日のリン酸オセルタミビルを投与。投与開始後7日目、異常な発言と共に意欲の低下著名、うつ症状発現。有害事象発現後7日目、回復。
348	B-06017777	女性	84歳	150mg	ゾピクロン アセトアミノフェン 塩酸アンブロキシオール キョウニン水 ベシル酸アムロジピン テルミサルタン 塩酸ジフェニドール スルバクタムナトリウム・アン ピシリンナトリウム	譫妄	回復	脳梗塞、脳腫瘍手術、不眠症の既往歴あり。インフルエンザ確定診断後、肺炎疑いで入院。翌日よりリン酸オセルタミビル投与開始。2日後夜間、つじつまの合わない会話あり、せん妄発現。4日後以降症状なし、4日後投与終了。